

平成30年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市川内第1牧野・第2牧野		
指定管理者	団体名	川内地区牧野管理組合	
	代表者	組合長 水戸隆璽	
	所在地	むつ市川内町袈川103番地124	
指定期間	平成28年 4月 1日 ~ 平成31年 3月 31日 (3年間)		
指定管理業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・牧野施設の維持と適正管理。 ・放牧牛、繁殖牛の育成と適正な管理。 		

2. 収支の状況

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計(A)	5,513	5,277	△236
うち利用料金額	1,179	943	△236
うち指定管理料	4,334	4,334	0
支出合計(B)	5,513	4,461	△1,052
うち人件費	1,806	1,598	△208
収支差(A-B)	0	816	816
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	・牧場利用農家の減少により利用額が計画を下まわった。		

3. 施設利用の状況

単位：頭

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用頭数	月齢18ヶ月以上	12,000	9,655	△2,345
	月齢12ヶ月以上18ヶ月未満	200	83	△117
	子付	0	4	4
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施(有・無)				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：改善要）

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	A
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	A	A
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	A
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	A	A
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	A	A
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	—	—
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	A
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	A	A
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	A
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	A	A
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	A
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	A
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	A	A
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	A	A
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	A
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	A
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	A	A

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

経費の節減に努力し、赤字運営を最小限にできた。優良な牧草の生育に努め、放牧後の掃除刈りを徹底し苦土タンカルの散布等で草地改良に努め事故の無いよう優良な黒毛和種の生産に努力した。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

利用数は減少したが、管理組合の適正な運営と管理及び経費削減が適切に行われている。
また、放牧地に苦土石灰を散布するなど、費用を抑えながらも草地の手入れを行い、事故なく運営したのは評価できる。